



地域の災害医療の 中心となる病院を目指して

6月度チーム活動報告

テーマ：災害対策本部 初動訓練

日時：6月14日(土) 13:00～16:00

参加者：95名

医師4名/看護師45名/コメディカル16名/
事務30名(警備含む)

訓練に先立ち

訓練に先立ち、訓練の総合シナリオ、災害対策本部各部門の役割などについて防災対策チームから説明がありました。

また、東日本大震災で被災した石巻赤十字病院の被災直後の初動の記録のDVDを見ていただき、イメージを膨らませていただきました。



発行日：2014.7 編集・発行：川崎幸病院 防災対策チーム

今回は、発災直後から発災5時間後までの災害対策本部の初動のシミュレーションをしました。

発災直後、発災30分後、発災5時間後にそれぞれ起こり得る問題点・トラブルを“ミッション”として各部門統括者に課し、各ミッションへの対応等をシミュレートしていただきました。ミッションとその対応策については、災害対策本部内で随時情報共有と検討をし、災害対策本部長である笹栗院長が病院の方針を打ち出していきます。

災害対策本部 各部門

(安全/設備支援/職員/診療/診療支援/患者・家族支援/情報/院外対応/院内対応)

総合シナリオ

| 発災 | 地震発生 |
|--------|--|
| 発災1分後 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 防災センターより地震発生のアナウンス ■ 各部署災害時チェックシート記入⇒地区長に報告 ■ 地区長は各階の被災状況を防災センターへ電話連絡 |
| 発災3分後 | <p>管理室よりアナウンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 災害対策本部の設置 ■ 継続勤務の指示 |
| 発災10分後 | <p>災害対策本部を講義室に設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地区長は災害時チェックシートを本部へ提出 ■ 安全/設備支援部門は院内被災状況を本部長に報告 <p>災害対策本部が災害レベル判定⇒レベル3B</p> <p>大規模災害時診療体制へ移行</p> |
| 発災15分後 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 災害対策本部が職員召集レベル判定⇒レベル3 ■ 職員部門統括者により職員召集開始 |
| 発災20分後 | <p>【発生直後】のミッション</p> <p>薬剤、医材、食料等の備蓄状況と供給見通しの把握、物流停止への対応 医療機器、検査機器等の使用可能状況の把握 多数傷病者来院への対応準備</p> <p>など</p> |
| 発災30分後 | <p>【発生30分後】のミッション</p> <p>交通機関不通を想定し、各部門勤務体制維持が可能か検討 他医療機関からの患者受け入れの可否の判断 外来患者、面会者の帰宅支援対応</p> <p>など</p> |
| 発災5時間後 | <p>【発生5時間後】のミッション</p> <p>インフラ、交通の復旧状況の確認と報告 満床への対応⇒ベッドコントロール、後方病院確保、近隣医療機関の情報収集 患者、面会者の安否確認の問い合わせへの対応</p> <p>など</p> |



初動シミュレーション

災害対策本部は講義室内に設置しました。本部内にはPC、ホワイトボード、プロジェクターを用意し各部門ごとに記録係を配置。本部内での情報共有をします。

また、参集職員受付も設置しました。参集職員役の職員には、訓練全体を見ていただき、訓練後感じたことを発表してもらいました。



安全部門

設備支援部門、安全責任者と連携・情報共有をし、建物・設備の安全性、セキュリティ、車両通行等の安全確保などを担当します。



患者・家族支援部門

患者、家族への対応を統括します。帰宅困難者が発生した時の帰宅支援や、家族などからの入院患者の安否確認への対応などを担当します。



院外対応部門

行政、消防、警察、他医療機関からの情報収集および当院からの情報提供を統括します。また患者転院時の、他医療機関との連携、搬送手段の調整も担当します。



設備支援部門

インフラ整備、清掃、給食の各統括者の活動を指揮。設備等の復旧状況などの情報を集約し、災害対策本部に適時報告します。



記録係

災害対策本部

職員部門

職員の配備状況を把握し、職員の召集指示を出します。また各部門の人員の過不足等の情報を集約し、参集職員および外部応援者を含め、人員の再配備を担当します。



情報部門

電子カルテなど診療に関わる通信手段をはじめ、院内外通信手段の確保を統括します。また、患者情報などの院内情報を災害対策本部内に掲示していきます。



院内対応部門

災害発生時の院内感染管理と衛生管理を統括します。訓練では、医療廃棄物の回収見通しが立たないことを想定し、医療廃棄物の院内廃棄ルールを検討しました。



診療支援部門

医材、薬剤の備蓄状況、医療機器の使用可否の状況を集約し、各部門への供給を統括します。また、各部門への情報伝達および患者、物品移送を統括します。



診療部門

災害初療、手術、各種検査など診療に関わる部門の状況を集約し、各部門の円滑な診療活動を統括します。また、入退院調整者と連携し、ベッドコントロールを円滑に進めます。



本部長/本部長補佐



各部門からの報告やミッションに対する対応について、本部長の笹栗院長と本部長補佐が病院としての方針・指示を打ち出していきます。訓練では、満床時の患者受け入れの対応については透析室のベッドを使用するよう、指示が出されていました。

訓練を振り返って



～アンケート抜粋～

本部と各現場間での正確な情報収集・伝達の仕組みづくりが必要/電子カルテが使用不可になることを想定した訓練も必要/災害時のベッドコントロールを検討しておく必要がある/スムーズに災害時診療体制に移行するためのマニュアルが必要

最後に、訓練の振り返りを各部門から発表してもらいました。また参加者には、訓練での気づきをアンケートに記入してもらいました。

今回の訓練では、大変多くの意見、改善案、指摘事項が寄せられました。

これは、今回の訓練で多くの課題、問題点の洗い出しができ、また、その課題に対して各職員が問題意識を持つことができたことを意味しているのではないかと思います。

今後も、訓練を通じて課題を洗い出し、全職員が問題意識を持って課題に取り組んでいけるように、意義のある防災活動を企画していきます。